

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(5月13日～5月19日)

2024年5月29日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ベラルーシ・ロシア国防大臣電話会談(5月15日)

●ルカシェンコ大統領のアゼルバイジャン公式訪問(5月15日～17日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●アゼルバイジャン公式訪問(5月15日～17日)

(1)アリエフ・アゼルバイジャン大統領との会談

・ルカシェンコ大統領は、ナゴルノ・カラバフでの戦争後の被災地域復興における協力を提案。

・アリエフ・アゼルバイジャン大統領は、1対1での会談の席上、二国間の多くの事柄、地域レベル・国際レベルでの事柄につき詳細に協議した旨述べるとともに、二国間関係が戦略的な関係であることが確認された旨付言。

・ルカシェンコ大統領は、首脳会談後の記者会見において、イラン・パキスタン・インドを含む地域全体への供給を視野に、かねてから取り沙汰されてきた複合鉱物肥料の共同生産を是非とも実現しなければならないことを強調。また、各種車両・エレベーター・医薬品等の現地生産、アゼルバイジャンの戦争被災復興を見据えたベラルーシ製林業製品の輸出拡大、スポーツ・医療・教育分野を含む人的交流の活性化等への意欲を表明。

・会談後、複数の国際文書に署名。

(2)カラバフの訪問

・両大統領は、カラバフの都市フズリ市を訪問。アリエフ大統領が運転する車両で、破壊された施設や、開発の可能性のある地域を視察。ルカシェンコ大統領は、「全く新しい生活が待ち受けているだろう。もちろん、不幸の代償は大きい」と発言。

・さらに、両大統領は、カラバフの都市シュシャ市を訪問し、紛争により破壊された建物等を視察。

(5月16日、17日 大統領府)

【外交】

●アレイニク外務大臣とバイラモフ・アゼルバイジャン外務大臣の会談

・貿易・経済、人道的協力、議会間協力の発展に特に注意が払われた。

・両大臣は、両国関係の戦略的性質、幅広い分野におけるミンスク・バクー間の更なる関係強化への相互の関心を強調。

(5月15日 外務省)

●外務省は、スロバキア首相銃撃事件を非難

・外務省は、「X」にて、「我々は、フィツォ・スロバキア首相の暗殺未遂事件を強く非難する。政治家や役人に対する襲撃や暴力は、どのような目的であっても、21世紀にはふさわしくない行為である。スロバキア首相の早期回復を祈る」とのコメントを投稿。

(5月15日 外務省「X」)

【内政】

●捜査委員会は、ベラルーシ国外で反体制派の行事に参加した104名を刑事事件で起訴

・ポーランド、チェコ、ベルギー、ジョージア、米国等において3月25日の「意思の日」(当館注:1918年にベラルーシ人民共和国の建国が宣言された日で、反ルカシェンコ派が祝っている)の行事に参加した104名が対象。

・捜査委員会は、対象者一覧は随時更新されている旨強調。

・対象者がベラルーシ国内で保有する不動産や財産の検分・捜査・差し押さえ等を含めた措置が講じられている。

(5月16日 捜査委員会)

●5月19日現在の政治犯の数は1,362人

(5月19日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●ベラルーシ・ロシア国防大臣電話会談

・フレニン国防大臣はベロウソフ露国防大臣と電話会談を実施し、二国間関係の現状につき協議。ベロウソフ露国防大臣は、両国軍の間の特別な関係を強調。
・レヴェンコ国防省国際軍事協力局長によれば、ベロウソフ露国防大臣は、フレニン国防大臣にモスクワを訪問するよう招待した。

(5月15日 国防省)

【治安・犯罪】

●ベラルーシから周辺国へのたばこの密輸の摘発

・5月11日、リトアニア国境警備隊はベラルーシからのたばこの密輸に関与していたリトアニア人3名を摘発。ベラルーシ国営「グロドノたばこ工場『ニョーマン』」製の「ミンスク」、「NZ」等12,000箱強(約2万ユーロ強)を押収。
・また、たばこの密輸を幫助していた疑いのある国境警備隊員も逮捕。

(5月17日 ポジルク)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(5月13日～5月19日)

・リトアニア国境警備局は少なくとも13人を阻止。
・ラトビア国境警備隊は少なくとも106人を阻止。
・ポーランド国境警備隊は少なくとも1094人を阻止。

(5月14日～5月20日 ポジルク)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

・5月13日、ベルギーにて、欧州連合(EU)諸国の文化大臣らを前にスピーチし、ベラルーシの文化を保護することの重要性を強調。また、クロアチア、リトアニア、エストニアの文化大臣らとそれぞれ会談。
・14日から15日にかけて、デンマークを訪問。European of the Year 賞を受賞。コペンハーゲン民主主義サミット、パネルディスカッション「Danish Foreign

Policy Society」でスピーチ。

・16日、ポーランドで開催された国際会議「Impact」にてスピーチを行い、欧州共同体に対し、ベラルーシの独立系メディアや市民社会に対する支援等を呼びかけた。

(5月20日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

(了)